

\*さくら会のマーク 重なりあう花びらは、人と人とが互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

### 2023年1月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1 ☎(03)5753-3900(代)·FAX(03)5753-3955 -ムページ:http://www.sakurakai.jp/



### 明けましておめでとうございます 社会福祉法人さくら会

旧年中は一方ならぬご厚情を賜り

理事長

前田

係の皆様に感謝申し上げます。 無事収束させることが出来ました。 師会の皆様のご支援・ご指導により、 員が感染しました。こうしたクラスタ ラスターが発生し、多数の利用者・職 を超えました。さくら会の施設でもク 昨年7月から8月にかけての第7波で 誠にありがとうございました。 コロナウイルスが発生しております。 ご存知のとおり、令和2年から新型 は品川区、品川区保健所、品川区医 都内の1日の新規感染者が4万人 重症化する人は少なかったとはい 関

いります。 す。今後もご利用者と地域の皆様に選 接面会の再開などを始めてきておりま すが、感染対策をしっかりと行い、 ばれる質の高いサービスを追求してま れ、新規感染者数も増えてきておりま 昨年末には、 本年もなにとぞご指導ご鞭撻のほど 安心はできない状況ではございま 第8波の到来が心配さ 直

多大なご不便をおかけしました。

得ませんでした。ご利用者の皆様にも 多くの集いや行事などを中止せざるを

また、11月のさくら会まつりを始め

よろしくお願い申し上げます。

# ・こども11ばんの家」の登録

### 品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム (大井林町倶楽部)

町会の見守り安全パトロールや立会小学校のあいさつ に面していることもあり、この度「こども11ばんの家」 運動に参加しています。事業所が立会小学校の通学路 に登録しました。 大井林町倶楽部では地域活動の一環として東大井林





けて身の危険を感じた時 きまといなどの行為を受 に不審者から声かけやつ はこどもたちが登下校時 「こども11ばんの家」

に避難場所として一時的に保護することが役割です。



す。なお「こども11ばんの家」 と連携を図り見守っていきま ため警察や立会小学校PTA なぼう」の表示板が目印です。 は品川区防犯マスコット「し ています。 大井林町倶楽部の玄関前にも 「しなぼう」が見張ってくれ 子どもたちの安全、安心の

活動の幅を広げていきたいと思います。 地域の皆様に必要とされる事業所を目指し、

ます。

# **〔認知症サポーターステップアップ講座〕**

## 南大井第二在宅介護支援センター

なりました。 染予防対策をしながら、3年ぶりに対面での開催と を開催し、36名の民生委員さんが参加しました。 10月12日、 東大井区民集会所にて民生委員学習会

界に寄り添ってみ ましょう」。 の認知症の方の世 がろう~コロナ禍 を受け止め、つな テーマは「不安

劇団さくら会による熱演

など)によって、 認知症の方が感じ との交流機会減少 (マスク着用、人 る生活様式の変化 コロナ禍におけ

をこの学習会で共有できたと思います。 とのつながりが大事」との感想もあり く、認知症の方に寄り添う対応の原点 くり聞く」と考えた民生委員さんが多 ワークを通し、理解を深めました。 安心していただけるか、寸劇・講義 た不安をふまえ、どのように関われば 学習会後のアンケートでは「人と人 ワークの中で「相手の方の話をゆっ

り続けられる地域作りを目指していき 今後も民生委員さんと共に、つなが オレンジリングは



## クリスマスリースづくり

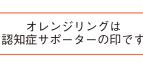
## 品川区立月見橋在宅サービスセンター

も真剣な表情でリングにモールを巻いていかれます。 きないよ」と一言。ところが、作り始めると、どの方 りました。活動を始める声掛けに、女性利用者からは 小物として、モールを使用したクリスマスリースを作 き始めています。そのひとつとして季節を感じられる 月の行事をきっかけに少しずつ活動の再開を目指し動 る事が難しい時期が続いています。月見橋では昨年フ 「何、何?できるかしら」男性陣は興味津々ですが、「で コロナウイルスの影響もあり、以前のように活動す



きました。 と話される方も、始めると夢中で取り組まれる姿も多 い出を作品と共に持ち帰って頂きました。自信が無い 残すためにインスタントカメラを使い、記念撮影。思 く、自分で選ぶこと・やりきった達成感を味わって頂 出来上がると、どの方も満面の笑顔。素敵な瞬間を

ずつ再開していきたいと考えています。 ウイルスに負けずこのような作品作りの活動を、少し 12月は感染状況により中止となってしまいましたが



### 南大井在宅サービスセンター ケアセンター南大井通所リハビリ

日の1週間開催しました。コロナ禍ではありましたが **丅分感染対策をとったうえで開催の運びとなりました。** デイサービスでは毎年恒例の運動会を10月11日から17

れました。 ッカーの3種目で白熱 棒サッカー、シーツサ を行ったあと、玉入れ、 分かれてエールの交換 した戦いが繰り広げら まず、最初に紅白に

ョンに参加されない利 用者の方も、最初は物 したが、後半には熱を 普段、レクリエーシ

帯び、玉を我先に投げ 怖じしながらの参加で

顔で目を輝かせていました。 **入れたり、棒サッカーでゴールを決めた時には満面の笑** 



ました。 手チームにエールを送っ 互いに助け合ったり、相 皆で万歳をして称えあい 発表をして赤組、白組と なりました。最後に結果 たりと笑顔溢れる時間と 仲間同士の応援や、お

ど、大いに盛り上がりま した。 コロナを吹き飛ばすほ

## 2階フロアでレッツ・

### ボーリング

### ケアセンター南大井

着た職員主導で準備体操〝マツケンマンボ〟を楽 ボーリング大会』を実施しました。牛の着ぐるみを 昨年もさくら会まつりが中止になった為、『秋の







職員手作りの記念品

ら』と『菜の花』チー に考えて頂いた『さく しく踊った後、 利用者

楽しそうにはしゃいでいました。各チームが鈴やタ くらチーム』が優勝 ると、うまく倒れたり倒れなかったりしてみんなが ムに分かれ、チーム対抗戦でボーリング大会を始め ノバリンで応援合戦を繰り広げた結果、41対52で『さ

りの記念品も好評でした。 最後にはみんなが笑顔と拍手で終わり、職員手作

### 勤続5年表彰式

# ~日頃の感謝と更なる成長と活躍を願って~

張っているスタッフに感謝の気持ちを伝えたい!」と いう想いから、さくら未来プロジェクトが企画し実現 象として、表彰式を行いました。これは、「いつも頑 したものです。 令和4年10月4日、入職5年目の常勤スタッフを対



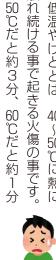


コロナウイルス感染拡大と予防のために延期が続い

ており、当時は入職5 撮影を行いました。 頃の感謝を伝えました。 司から預かったメッセ 状と共に記念品のバー 年だったスタッフも6 り、最後は笑顔で記念 を合わせる機会にもな ージカードを渡し、日 年目、7年目となって ムクーヘンと先輩や上 しまいましたが、表彰 久し振りに同期と顔

# 低温やけどに注意

触れ続ける事で起きる火傷の事です。 低温やけどとは、40~50℃に熱に



皮膚の奥をじわじわ痛めていくため油断は禁物です。 で火傷となる可能性があります。自覚症状がないまま 〈予防のポイント〉

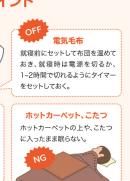
①熱を長時間同じ部位に当てないようにしましょう。

②こたつや電気カーペットを使用したまま眠らない。 ③湯タンポや電気アンカは、寝る前に布団を温める タイマーをかける等の工夫をしましょう。 為に使い、寝る前は布団から出しましょう。

④火傷を見つ

けたら、痛 受けましょ るまで流水 みがなくな 院で診察を 放置せず病 で冷やし、

眠剤を内服して なっている・飲 意が必要です。 いる等の人は注 酒している時や より感覚が鈍く 病や神経疾患に 痺がある・糖尿 特に身体に麻



貼るタイプのものは、必ず衣類の上に貼 り、同じ部位に長時間あてない。貼ったま ま眠らない。貼った部分をサポーターや ガードルで圧迫しない。靴下用カイロは、 靴を履いているときだけ使用する。

湯たんぽ、電気あんか 専用カバーや厚手のタオルで包んで

も、足が触れると低温やけどをするこ

とがある。就寝前に布団に入れて温

めておき、就寝時は布団から出す。

得ることが沢山あります。 やゲームで交流。企画や当日の案内はさくら未来 会議の進め方等、この企画を通してできることや 貢献や、先輩や同期との絆を育むこと、効率的な 入社1~3年目の職員が揃いのスタッフジャンパ している「みんな �� GOMI 拾い」があります。 体的な取組をご紹介すると、平成29年度から継続 ―で地域のゴミ拾いをします。その後は自己紹介 プロジェクトの先輩職員が担当します。地域への さくら会の具

ください。

ますので是非ご覧ください。 祉人材情報バンク「ふくむすび」 その他、さくら会の取組は東京都福祉保健局福 に公開されてい

### TOKYO働きやすい 福祉の職場宣

すい職場づくりに取り組むことを宣言する事業所 として宣言しました。3年経過し、 しました。 「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業所」 さくら会は令和元年に東京都が公表する働きや また3年更新



独自の働きやす 取組には人材育 まえています。 ワーク・バラン と処遇、ライフ・ 成、仕事の評価 イドラインを踏 い福祉の職場ガ ス等があり、都 働きやすさの

### Q:ご利用者、読者に向けてメッセージ 供できるよう心がけています。 Q:専門職として心掛けていること 環境を考え、一人ひとりに合ったリハビリを提 ご利用者のお人柄や、ご自宅や施設での生活

リハビリを行っています。

中心に、皆様がより良い生活を過ごせるよう、

言語聴覚士は「話す・聞く・食べる」ことを

Q:仕事の内容

られるよう、微力ながらサポートさせて頂きた を食べることを、いつまでも楽しみながら続け いと思います。 身近な人との何気ない会話や、美味しいもの

うぞお声かけ りましたらど りのことがあ で、何かお困 在宅生活の中 施設生活や



若穂井秀樹さんの登場です! 次回7月号は「介護支援専門員.

次回の発行予定は、令和5年7月です。 さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。 社会福祉法人さくら会 T140-0013 品川区南大井5-19 編集委員会 宛



## ・・・・専門職に聞く・・・・

ケアセンター南大井

言語聴覚士

阿竹

綾香